

## 〔後 記〕

社会科学ジャーナルもここに第3号を発刊するはこびとなった。これでどうにか年報としての遅れを一応取りもどしたことになるわけである。

この第3号は、創刊号及び第2号とはその発刊の趣旨を若干異にしている。というのは、この号は、特に前総長湯浅八郎先生の古稀の祝に捧げるために、そのまま外の同様の趣旨で作られた出版物と一緒にバインドすることができるということを立前としたからである。したがって編集するにあたって、これまでのように研究所員の個別的研究の成果の集録という枠をはずして、広くICUにおける社会科学関係の研究者に投稿の道を開いたわけである。故に集った論文10篇も社会科学研究所以外の方々のものが大部分を占め、その論文の形態も内容も至って多彩であることは言うまでもない。また論文の配列順序についても、今までのように「理論的なものから実証的なものへ」という原則をそのままを適用することが難しかった。それで、極く大ざっぱに、取り扱っている問題の大きなものから順に、且つまた心理・労働・経済・社会というような科目別の配列をも考慮して、目次のような順序に並べたわけである。

第3号に研究所員の論文が僅かしか載らないという結果になったことは、手続上の原因にも依るものである。第一にICUの定期刊行物を全部前総長の古稀の祝に捧げようという相談には、社会科学研究所の編集担当者は参加する機会を全く与えられなかったことである。しかも、そのうちに、社会科学ジャーナル第3号は社会科学関係で投稿希望者のすべての論文の掲載にあてられるということが、社会科学ジャーナルの編集担当者だけでなくすべての所員の知らないあいだに決められてしまった。そこで、研究所関係者は、こんどの第3号では主に研究所以外の投稿を優先させるのであろうと判断し、投稿を速慮したわけである。実際にわれわれ関係者は、第3号にかぎっては、編集の責任も外部の人がとってくれるのであろうと考えていたのであるが、はからずも編集の責任(雑用)だけはこちらの方にまわされて、いささか面くらった次第である。この機会にこのような重大を決定はもう少し民主的にやっていただきたいことを希望しておく。

ふりかえてみると、1961年という年は社会科学研究所にとっては、何となくあわただしい年であった。四月に鵜飼所長が米国より帰国されるや否や、第二代総長の席に座ることが要請され、それが本決りになったのは夏中休暇あけであり、その後をそれまで顧問格で来学されていた蠟山先生が専任としてお引きうけ下さる運びとなった。このようなあわただしさは、われわれ所員の気分をも何となく動揺させて、じっくりと落ち着いて研究に身をいれることをさまたげたという実感を否定す

ることはできない。しかし現在では安定を取りもどして、「三鷹市の構造的研究」の調査計画も着実に進行している。また延び延びになった日野町調査の報告書も、いよいよ印刷の段階までに漕ぎついている状態にある。以下に本年度の研究所の研究活動の大要を述べて筆を擱く。

#### 〔1961年度の共同研究〕

研究課題：首都近郊都市の構造的研究——三鷹市を中心に——

研究目的：大都市の再開発，地域経済の開発，広域都市の建設等，近時都市開発の問題が各方面において取り上げられている。首都圏の場合も例外でない。これらの開発計画の樹立に不可決の条件は，各地域社会に関する具体的な基礎的資料を用意するということである。それなしには，これらの計画が国民の福祉の増進に役立つか，また自治行政の発展に添いうるかどうかわからない。本計画は，首都圏の再開発計画に役立たせるための基礎的研究の一例として，同時に自治行政の立場から住民の福祉の増進に寄与しようとするものである。

#### 実施計画

本研究は2年間の継続研究であり，第1年目は主に実態調査に，第2年目はその整理研究にあてられる。この研究計画においては，共同研究の便宜上から，つぎのように三つの大きな研究分野に分けられ，さらにそのなかが幾つかのテーマに分かれている。

#### (A) 地域社会構造研究班

- (イ) 人 口
- (ロ) 土地利用
- (ハ) 住 宅
- (ニ) 交 通
- (ホ) 住民団体
- (ヘ) 地域生活 { 文化構造  
余暇構造

#### (B) 産業経済構造研究班

- (イ) 三鷹市の経済構造の研究
- (ロ) 農業問題
- (ハ) 工業立地問題
- (ニ) 商業問題
- (ホ) 労働問題

#### (C) 自治構造研究班

- (a) 行政問題の動向——都市化の影響——
  - (イ) 行政機能の諸問題
  - (ロ) 開発計画

- ㊦ 行政管理の諸問題
- (b) 住民参加の実態
  - ㊦ 住民参加の実態
  - ㊦ 自治意識の実態
- (c) 都及び隣接地域との関係

〈1961年12月1日小林記〉